

開館30周年記念

ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン所蔵

ロックフェラー・コレクション 花鳥版画展 北斎、広重を中心に

Bird and Flower Prints from the Abby Aldrich Rockefeller Collection of the RISD Museum: Featuring Hokusai and Hiroshige



モダン・レディが恋した、可憐な浮世絵

2026年
1月17日(土) — 3月1日(日)

〔関連イベント〕
※事前申込制イベントの詳細や申込方法は美術館ホームページをご確認ください

◆講演会「花鳥版画の収集——アビー・オールドリッチ・ロックフェラーの遺したもの」
講師：ワイイー・チョン氏（ヴァージニア美術館学芸員／元RISD美術館学芸員） 逐次通訳：松尾知子（当館副館長）
1月17日（土）14:00～（13:30開場予定）／11階講堂にて／先着80名（当日12:00より1階にて整理券配布）／聴講無料（要展覧会チケット・半券、招待券、友の会会員証可）

◆講演会「浮世絵出版における花鳥画 版元と流通」
講師：田辺昌子氏（国際浮世絵学会常任理事／本展監修）
2月8日（日）14:00～（13:30開場予定）／5階ワークショップルームにて／先着80名（当日12:00より1階にて整理券配布）／聴講無料（要展覧会チケット・半券、招待券、友の会会員証可）

◆コンサート「邦楽四重奏団の花鳥諷詠」
出演：平田紀子、寺井結子、日吉章吾（箏・三絃・十七絃）／黒田鈴尊（尺八）
2月7日（土）14:00～（13:30開場予定）／1階さや堂ホールにて／先着80名（当日12:00より会場前にて整理券配布）／入場無料

◆浮世絵の摺実演
浮世絵の名品を生んだ多色摺木版画の技術を今に伝えるアダチ伝統木版画技術保存財団による摺の実演と解説です。
出演：アダチ伝統木版画技術保存財団
2月14日（土）14:00～／1階さや堂ホールにて／参加無料

◆「空育®JAL折り紙ヒコキ教室」(事前申込制)
海外からの作品を空輸した日本航空の協力で開催するワークショップです。
2月22日（日）10:30～・13:30～／11階講堂にて／参加無料／対象：小学生／各回定員15組（2名まで申込可）

◆市民美術講座
「浮世絵と文学の交差する世界 花鳥版画と摺物を中心に」
講師：田部井栞里（当館学芸員）
2月23日（月・祝）14:00～（13:30開場予定）
11階講堂にて／先着80名（当日12:00より1階にて整理券配布）／聴講無料（要展覧会チケット・半券、招待券、友の会会員証可）

◆担当学芸員によるショートレクチャー
1月21日（水）、2月11日（水・祝）14:00～
1階多目的室にて／先着30名程度／参加無料

◆美術館ボランティアスタッフによるギャラリートーク
会期中の毎週水曜日（1月21日を除く）14:00～
先着15名（当日13:30より8階受付にて参加証配布）／参加無料（要企画展チケット）
※水曜日以外の14:00にも開催することがあります。
※混雑時には中止する場合があります。

◆ちばしび託児サービスデー（事前申込制）
2月8日（日）13:00-16:00

〔同時開催〕
5階常設展示室：
「千葉市美術館コレクション選
特集：没後20年 ドラッカー・コレクションと山水画（仮称）」
休室日：第1・3月曜日／企画展をご観覧の方は無料

4階子どもアトリエ：
「つくりかけラボ19 小森はるか＋瀬尾夏美 |
へびと地層 風景から生まれる物語」
2025年10月11日（土）～2026年1月25日（日）

「つくりかけラボ20 西村優子 | 紙と手のあいだ」
2026年2月11日（水・祝）～6月7日（日）
いずれも休室日：第1・3月曜日／観覧無料

〔次回展予告〕
「第57回千葉市民美術展覧会」2026年3月7日（土）～27日（金）
「密やかな美 小村雪岱のすべて」2026年4月11日（土）～6月7日（日）

休室日／月曜日（2月23日をのぞく）、2月24日(日) 開館時間／10:00-18:00（金・土曜日は20:00まで）※入場受付は閉館の30分前まで
観覧料／一般1,800円（1,440円） 大学生1,200円（960円） 小・中学生、高校生は無料

【同時開催】うるわしき摺物——縁をつむぐ浮世絵

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※（ ）内は前売り、団体20名以上、市内にお住まいの65歳以上の方の料金 ※前売券はミュージアムショップ、ローソンチケット（Lコード：35580）、セブンイレブン（セブンチケット）、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて1月16日まで販売（1月17日以降は当日券販売） ※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料2割引 ※本展チケットで5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

主催／千葉市美術館 助成／芸術文化振興基金 共催、美術館連絡協議会、読売新聞社 協力／日本航空

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

花や鳥を主題とした浮世絵「花鳥版画」。美しくも可憐な花鳥を、季節のうつろいとともに描いたこれらの作品は、葛飾北斎や歌川広重が活躍した時代に数多く制作されました。

米国ロードアイランド州に位置するロードアイランド・スクール・オブ・デザイン（通称・RISD）付属の美術館には、こうした花鳥版画が大半を占める「ロックフェラー・コレクション」が所蔵されています。アメリカの名門ロックフェラー家の一員、アビー・オールドリッチ・ロックフェラー（1874-1948）によって収集・寄贈されたもので、浮世絵の中でも役者絵や風景画、美人画ではなく花鳥版画を中心に据えた点で、世界的にも稀有なコレクションです。

本展では、同コレクション700点あまりから163点を厳選してご紹介します。花や鳥の種類、制作した絵師、作品のかたち、どれをとっても多彩な作品の数々。みずからも慈善家として活躍したアビーは、花鳥版画、ひいては日本そのものに恋をし、これらの作品に囲まれて過ごしていました。そんなアビーの眼差しをとおして、アメリカでの受容に加え、日本で作品が生まれ、愛された時代の空気にも触れていただけるでしょう。

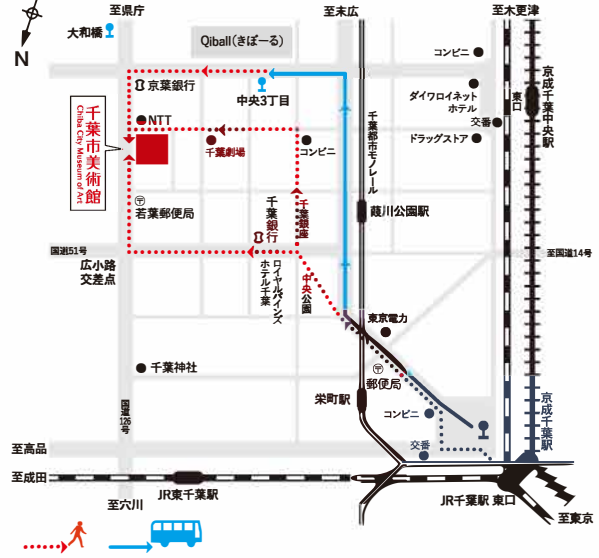
このたびは、北斎、広重をはじめとする浮世絵師たちによる花鳥版画を一堂に鑑賞することができる、希少な機会となります。親しみやすく見ごたえのある花鳥版画の世界を、ぜひご覧ください。



表面／歌川広重《雪中椿に雀》中短冊判錦絵 天保3-6年(1832-35) 1／葛飾北斎《「鶯 垂桜」》中判錦絵 天保5年(1834)頃 2／葛飾北斎《露草に鶏》団扇絵判錦絵 天保3年(1832)頃 3／歌川広重《月に雁》中短冊判錦絵 天保3-6年(1832-35)頃 4／伊藤若冲《雄雄鶏図》木版彩色摺 江戸時代 5／歌川広重《烏瓜に目白／芍薬に小鳥》中短冊判錦絵(2図分) 天保3-6年(1832-35)頃 すべてRISD美術館蔵 Courtesy of the Museum of Art, Rhode Island School of Design, Providence Gift of Mrs. John D. Rockefeller, Jr.



北斎、広重を中心に 花鳥版画展 ロックフェラー・コレクション



交通案内
■JR千葉駅東口より：
徒歩約15分／バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分／千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩約5分
■京成千葉中央駅東口より：
徒歩約10分
■東京方面から車では：
京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
*地下に機械式駐車場があります（車高155cmまで）。
*シェアサイクルスポットがあります。

千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8
Tel: 043-221-2311 (代) <https://www.ccma-net.jp>

